

「女・男 ともに輝く情報誌」



ウィルプラス

No.67 2010

編集・発行 財団法人あいち男女共同参画財団

特集

若者の結婚事情と 男女共同参画

- ◆セミナーレポート
- ◆セミナーのご案内 2010 春
- ◆参画トピックス
 - ・県内初! 江南市が「男女共同参画宣言都市」に
 - ・春日井市の「ジェンダー紙芝居」と「ジェンダーかるた」
- ◆団体紹介
 - 「地域開発みちの会」
 - ～生物多様性(COP10)と男女共同参画～
- ◆相談コーナーから
 - 体の症状は、心の声
- ◆情報ライブラリーから
 - ・雑誌のバックナンバーを簡単に探せるようになりました!
 - ・図書の紹介～婚活～

「ウィルあいちニュース」は今号から「ウィルプラス」に改称しました。性別や年齢の枠を超えてすべての人がイキイキと生きるために…あなたに今まで以上にプラスとなる情報をお届けします。



愛知県女性総合センター(ウィルあいち)のご案内

開館時間

9:00~21:00

●情報ライブラリー
9:00~19:00(日曜9:00~17:00)

●相談コーナー
受付時間9:00~12:00 12:45~16:30
(土・日曜は16:00まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休館)

国民の祝日(土・日に当たるときは開館)

年末年始(12月29日~1月3日)

*ただし、電話による施設予約は休館日の9:00~17:00も受け付けます。(年末年始を除く)

*宿泊施設は、年末年始以外はすべてご利用いただけます。

*情報ライブラリーは、毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日も休館)も休館します。

所在地・お問い合わせ先

〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地

<http://www.will.pref.aichi.jp/>

- 情報ライブラリー 電話 052-962-2510
- 相談コーナー 電話 052-962-2614
- 施設利用受付 指定管理者 コンプレ・愛知グループ
(ホール・会議室・宿泊室) 電話 052-962-2511

交通のご案内

- 地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。(駐車場有料)



ウィル おじさん



○名称・デザインが新しくなった「ウィルプラス」、いかがでしたか?あなたのご意見ご感想を(財)あいち男女共同参画財団総務情報課までお寄せください。

○「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。ホームページでも見ることができます(バックナンバー含む)。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

ウィルプラス No.67 2010

編集・発行 財団法人あいち男女共同参画財団
 住所 〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地
 (愛知県女性総合センター内)
 電話 052-962-2505(代表)
 FAX 052-962-2477
 発行 平成22年5月(年4回/次号発行予定:8月)

若者の結婚事情と男女共同参画

晩婚化・未婚化が進んでいます。そして結婚するための活動、いわゆる「婚活」が脚光をあびています。今回は、各種の調査から見てくる結婚事情を、男女共同参画の視点から考えてみたいと思います。

男性の未婚化が加速している

愛知県における平均初婚年齢は、2008年には女性28.2歳、男性30.1歳で、28年の間に女性は3.5歳、男性は2.4歳上昇しました。また、生涯未婚率(50歳時の未婚率)は、2005年には女性は5.54%、男性は15.16%になりました。

このままいけば、2020年には、男性の4人に1人が生涯独身になると言われています。

表1 愛知県の平均初婚年齢 ()内は全国

区分	妻			夫		
	1980年	2000年	2008年	1980年	2000年	2008年
年齢	24.7歳 (25.2)	26.8歳 (27.0)	28.2歳 (28.5)	27.7歳 (27.8)	28.6歳 (28.8)	30.1歳 (30.2)

資料:厚生労働省「平成20年人口動態統計(確定数)の概況」から作成

表2 愛知県の生涯未婚率 ()内は全国 単位:%

区分	女性			男性		
	1980年	2000年	2005年	1980年	2000年	2005年
割合	4.67 (4.45)	4.29 (5.82)	5.54 (7.25)	2.22 (2.60)	12.24 (12.57)	15.16 (15.96)

資料:国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2010」から作成

表3 愛知県の年齢別未婚者割合 ()内は全国 単位:%

年齢	女性			男性		
	1995年	2000年	2005年	1995年	2000年	2005年
25~29	43.3 (48.0)	49.5 (54.0)	55.8 (59.0)	66.6 (66.9)	68.5 (69.3)	71.8 (71.4)
30~34	15.4 (19.7)	21.7 (26.6)	27.0 (32.0)	35.1 (37.3)	40.5 (42.9)	45.7 (47.1)
35~39	7.6 (10.0)	10.8 (13.8)	15.1 (18.4)	20.9 (22.6)	24.2 (25.7)	29.1 (30.0)
40~44	5.0 (6.7)	6.6 (8.6)	9.5 (12.1)	15.9 (16.4)	17.4 (18.4)	20.9 (22.0)
45~49	4.1 (5.6)	4.6 (6.3)	6.4 (8.2)	10.9 (11.2)	14.3 (14.6)	16.2 (17.1)

資料:総務省「社会生活統計指標-都道府県の指標-2010」から作成

独身の9割は結婚したい、6割は1年以内にしたい

県が2008年10月に実施した「少子化に関する県民意識調査」(以下「県少子化意識調査」という。)の独身者の結婚に関する意識では、9割近くの人に結婚の意思があり、6割は1年以内に結婚してもよいと回答しています。

表4 独身者の結婚に関する意識 単位:%

結婚の意思	女性	男性
いずれ結婚するつもり	87.8	86.3
1年以内に結婚してもよい	65.2	58.4

独身でいる理由

では、独身でいる理由は何でしょうか。「県少子化意識調査」では、次のような理由が上位になっています。

表5 独身にとどまっている理由 単位:%

独身にとどまっている理由の上位項目	女性	男性
適当な相手にまだめぐり会わないから	48.8	58.0
今は、仕事(または学業)にうちこみたいから	39.4	35.1
独身の自由や気楽さを失いたくないから	31.9	22.9
経済的な余裕がないから	28.6	47.3

専業主婦志向が高まっている

また、県が2008年9月に実施した「男女共同参画意識に関する調査」(以下「県参画意識調査」という。)では、若い世代で「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に賛成する人の割合が10年前より増えていることが注目されました。

働く女性の過半数は非正規雇用で、女性の7割近くは年収300万円以下です。これが、女性の専業主婦志向の増大の背景にあると考えられます。

また、30代、40代の男性の2割以上が週60時間以上働いていることに代表されるような働き方の問題も関係があると考えられます。

表6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に賛成(同感)する割合 単位:%

区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
女性	1998年 25.8	32.1	26.1	42.1	46.7	44.2
2008年	36.0	38.9	38.7	39.9	54.0	65.6
男性	1998年 38.6	33.4	47.0	53.4	65.6	75.7
2008年	52.7	44.5	51.1	51.4	60.3	64.9

資料:愛知県「男女共同参画意識に関する調査報告書」(平成11年2月、平成21年3月)から作成

表7 雇用形態別構成(2008年) 単位:%

区分	正規雇用	パート・アルバイト	その他(派遣・契約・嘱託等)
女性	46.5	40.3	13.2
男性	80.9	8.5	10.6

資料:内閣府「男女共同参画社会の実現を目指して(2009.6 改訂)」から作成

表8 給与階級別分布(1年を通じて勤務した給与所得者)2008年分 単位:%

年収(万円)	200以下	200超~300	300超~400	400超~500	500超~600	600超
女性	43.7	22.7	15.3	8.5	4.4	5.4
男性	10.0	12.3	18.0	17.2	12.8	29.9

資料:国税庁「平成20年分民間給与実態統計調査結果」から作成

表9 週60時間以上働く人の割合(2008年) 単位:%

区分	20歳代	30歳代	40歳代
女性	6.6	6.1	6.5
男性	16.2	22.1	21.1

資料:内閣府「男女共同参画社会の実現を目指して(2009.6 改訂)」から作成

現実には共働き世帯が増えている

一方、県参画意識調査では、「子どもができて、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と考える割合も男女ともに増えています。

現実には女性が専業主婦を希望しても、それを支える収入のある男性の割合は多くはありません。

実際に、世帯所得が減少する中、共働き世帯は男性片働き世帯を上回っており、増加傾向が続いています。

表10 「子どもができて、ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と回答した割合 単位:%

区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
女性	1998年 25.8	25.9	26.1	19.0	18.5	29.4
2008年	32.0	36.7	35.0	33.9	25.7	17.7
男性	1998年 12.3	16.7	19.3	17.0	14.6	16.2
2008年	30.1	34.7	32.1	41.2	31.2	23.4

資料:愛知県「男女共同参画意識に関する調査報告書」(平成11年2月、平成21年3月)から作成

表11 年齢階層別の平均給与 単位:万円

年齢(歳)	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49
女性	232	294	301	290	288	290
男性	264	378	453	530	617	663

資料:国税庁「平成20年分民間給与実態統計調査結果」から作成

表12 世帯所得の推移 単位:万円

1世帯平均所得	1990年	1995年	2000年	2005年	2007年
全世帯	596.6	659.6	616.9	563.8	556.2
児童のいる世帯	670.4	737.2	725.8	718.0	691.4

資料:厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」(平成20年)から作成

セミナーレポート

「なぜ若者は結婚しないのか」公開講座(2010冬)

平成22年1月30日(土)に、日本青年館結婚相談所専門相談員の板本洋子さんを講師にお迎えし、未婚率が上昇し、晩婚化・未婚化が進む若者の結婚観をお話いただきました。20歳代から80歳代までの99名の方が参加しました。

若者の非正規雇用の増加や長時間労働などの社会背景とともに、コミュニケーション力がいかに大切かなどを楽しくユーモアあふれる話し方で非常に分かりやすくお話いただき、参加者からは「講座を聞いて、家族と話をしてみようと思った」など前向きな感想を多数いただきました。



表13 共働き等世帯の推移 単位:万世帯

区分	1980年	1990年	2000年	2005年	2008年
男性片働き世帯	1,114	897	916	863	825
共働き世帯	614	823	942	988	1,011

資料:内閣府「男女共同参画社会の実現を目指して(2009.6 改訂)」から作成

だからこそ男女共同参画

結婚は個人の自由意思によるものですが、独身者の9割近くが結婚を望みながらも年々未婚化が進んでいるのは、現在の社会情勢に「制度」や「意識」が合っていないことにも原因があるのではないのでしょうか。

男女がともに働き続けながら家事・育児ができるシステムが必要です。そのためには「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」を実現する制度が不可欠です。

今年は長時間労働を抑制する「労働基準法の改正」、男女ともに子育て等をしながら働き続けることができる雇用環境の整備を図るための「育児・介護休業法の改正」「雇用保険法の改正」が相次いで行われています。

今後とも制度面での充実が期待されますが、制度を生かすためにも、「夫は仕事、妻は家庭」という役割意識にとらわれない柔軟な考え方が必要ではないのでしょうか。

そして一人ひとりの個性と能力が生かされ、それぞれの生き方が尊重される社会を実現すること、それが男女共同参画の目指すところだと思います。

これからも、このコーナーではさまざまな問題に男女共同参画の視点から光をあてていきます。

愛知県男女共同参画社会支援セミナー

市町村の政策や方針決定の場で活躍できる女性の人材育成を目的に、愛知県から委託を受けて平成21年6月から平成22年3月まで年間10回のセミナーを実施しました。

市町村から推薦を受けた27人の女性が、男女共同参画行政、DV問題、ワーク・ライフ・バランスなど、男女共同参画に関わる諸課題について理解を深めました。

このセミナーの修了生は平成8年度から20年度までで408名ですが、6割の方が市町村の審議会等へ登用されるなど地域で活躍しています。



平成21年度 愛知県男女共同参画社会支援セミナー報告会

～セミナーのご案内 2010春～

※全てのセミナーに託児がついています。(1人につき150円)

(講師敬称略)

女性の創る歌舞伎の新しい魅力 ～市川櫻香～



全国でもめずらしい女性が歌舞伎を演じる「名古屋むすめ歌舞伎」を結成した市川櫻香さん。師である市川團十郎さんと初の男女歌舞伎公演も実施しました。

今回は、女性が演じる歌舞伎の魅力や苦労を伺い、古典舞踊「清元北州」を実演していただきます。

公開講座 1

日時▶7月3日(土) 13:30～15:30
講師▶市川櫻香(NPO法人むすめかぶさ代表理事)
受講料▶600円 定員▶100名(男女)
申込締切▶6月23日(水) 必着

女性のグループリーダー研修(全3回)

リーダーのためのファシリテーション講座
～グループを元気にするファシリテーション・スキル～

グループ内の意見を引き出すファシリテーションのスキルを使って、グループ活動中の「こまった」や「どうすればいいのだろう」を参加者の皆さんと一緒に考え、解決のヒントを探ります。

◇日時・テーマ・講師

6月12日(土) 13:30～16:30

語りあおう! グループ活動のこと
小山田奈央(クレセント・ワークス代表)

6月20日(日) 10:30～16:30 *1時間の昼休憩あり

ファシリテーション・トレーニング①
小山田奈央(クレセント・ワークス代表)

6月27日(日) 10:30～16:30 *1時間の昼休憩あり

ファシリテーション・トレーニング②
小山田奈央(クレセント・ワークス代表)

リーダーのベストプラクティス ～事例発表と交流会～

小山田奈央(クレセント・ワークス代表)
新海洋子(環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー)
岡本一美(NPO法人地域福祉サポートちた事務局)

受講料▶(全3回) 4,000円 定員▶40名
対象▶団体・グループで活動している女性、またはこれから活動したい女性
申込締切▶5月26日(水) 必着

韓流ドラマを十倍楽しむ! (全2回)

韓国の社会情勢や女性たちの生き方、スターたちの素顔や韓流ブームの移り変わりなどを読み解きながら、韓流ドラマを十倍楽しむためのコツを伝授いただきます。

〈公開講座2〉だけでも受講できます。

◇開催日・テーマ・講師

7月11日(日)

韓流スターたちの素顔
古家正亨(ラジオDJ、韓国観光名誉広報大使)

7月17日(土)

韓流と女性-韓国社会を解き放つ
キムサンミ
金相美(名古屋大学准教授)

時間▶13:30～15:30

受講料▶(全2回) 1,200円、(公開講座2のみ) 600円

定員▶40名、ただし公開講座2は120名(男女)

申込締切▶6月23日(水) 必着



ウーマンネットワーク支援事業

①こころに響く!「ほめ方」「叱り方」

こんな方と一緒に… 周囲を元気づけたい、やる気を高めたい
部下や後輩、同僚のモチベーションを高めたい
コミュニケーション力を高めたい 信頼関係を築きたい
「ほめ方」「叱り方」のコツをワークショップで楽しく学びます。

日時▶平成22年6月5日(土) 13:30～16:30

講師▶齋藤直美(株式会社ミュゼ代表取締役)

申込締切▶5月19日(水) 必着

②「浅田家」流!思い出をつくる写真術

～写真でもっと楽しもう、つながろう～

家族で消防士などに扮したユーモアあふれる写真で「木村伊兵衛写真賞」を受賞した浅田政志さんを講師に迎えます。写真を撮ることで深まる人とのつながりや、一味違う写真を撮るコツや楽しみ方について語ってまいります。

日時▶平成22年6月19日(土) 13:30～16:00

講師▶浅田政志(写真家)

申込締切▶6月2日(水) 必着

①②ともに、スイーツを楽しみながらの交流タイムもあります。
参加費▶各1,700円(菓子、飲物付) 定員▶各50名(女性)

※他にも「サクセスフル・エイジング」や「キャリアアップセミナー」があります。 ※セミナーの詳細はチラシ、ホームページをご覧ください。

「ウィルあいちフェスタ2010」参加イベント募集

日時▶平成22年11月13日(土) 9:00～16:30

場所▶ウィルあいち内の各施設

応募資格▶愛知県内を中心に活動を行っている団体

応募要件▶イベントは右の①～③の要件を満たすことが必要です。

①男女共同参画意識の向上や、女性の社会参画の促進を図り、男女共同参画社会の実現に資するものであること。

②ウィルあいちへの来館者が自由に入場できるものであること。

③営利活動、特定の宗教の布教活動、又は特定の政党・政策の支援を目的としないものであること。

応募方法▶所定の申込書により、下記申込先へ持参、郵送又はFAXしてください。 応募締切▶6月15日(火) 当日必着

選定方法▶イベント企画内容を審査し実施団体を25団体程度選定

その他▶参加負担金あり ※詳しくは、お問い合わせください。

採否の通知▶7月中旬に通知

問い合わせ・申込先 財団法人あいち男女共同参画財団 企画協働課
電話 052-962-2512 FAX 052-962-2477 Eメール willkouza@will.pref.aichi.jp ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp/>

参画トピックス

県内初! 江南市が「男女共同参画宣言都市」に

江南市は、男女が互いに尊重し、協力し合うとともに、健やかで安心安全に暮らせるまちを目指して、県内で初めて「男女共同参画宣言都市」宣言を行いました。

平成22年2月20日(土)に市民文化会館で行われた宣言都市記念式典は、保育園児の阿波おどりで幕を開け、4人の新成人の先導のもと、会場の参加者による宣言文の群読が行われました。

続いて男女共同参画をテーマに募集した写真や一行詩の優秀作品の発表と表彰が行われたほか、弁護士の住田裕子さんが「一人ひとりが輝こう…私の個性も あなたの個性も」と題して記念講演を行いました。

男女共同参画宣言都市は、平成21年4月1日現在で、全国に132市町村あります。宣言都市では、男女共同参画推進の積極的な姿勢を広く周知するとともに、男女共同参画によるまちづくりの実現に向けてさまざまな取り組みが行われています。

保育園児による阿波おどり



新成人の先導による宣言文の群読



住田裕子さんの記念講演



春日井市の 「ジェンダー紙芝居」と「ジェンダーかるた」 ～貸出を行っています!～

「ジェンダー紙芝居」は、子どもたちが、子どものころからジェンダーに敏感な視点を持ち、「女らしさ」「男らしさ」にとらわれずに「私らしさ」を大切にしたい自由な選択や生き方ができるよう、平成16年4月から半年間をかけて、市内7保育園の保育士が作成しました。ストーリー、作画の全てが手づくりで、全7作品あります。

「ジェンダーかるた」は、市民から募集した「ジェンダー川柳」の入選作品から44句を選定した読み札と、公募による市民4人の描いた絵札44枚で構成されています。

紙芝居もかるたも、子どもから大人まで、楽しみながら男女共同参画やジェンダーについて学ぶことのできる教材となっています。親子のふれあいの時間や子ども会の集まりなどでぜひご活用ください。

春日井市民生活部男女共同参画課
問い合わせ先 電話 0568-85-6152
Eメール danjo@city.kasugai.lg.jp



ジェンダー紙芝居



ジェンダーかるた

団体紹介

このコーナーでは、男女共同参画社会の実現に向けた活動をしている県内の団体をご紹介します。

第1回の今回は名古屋・知多地域で活動する「地域開発みちの会」にお話を伺いました。

地域開発みちの会

「未知」の「道」は可能性に「充ち」ている

「地域開発みちの会」は、昭和58年から始まった愛知県主催の「地域婦人問題開発研究会」(平成8年度以降は「男女共同参画社会支援セミナー※」)を修了した名古屋・知多地域の女性たちによって昭和62年に結成された会員数91人の団体です。

「みち」は「未知」「道」「充ち」に通じ、地域の課題に男女共同参画の視点から取り組み、時代を先取りしたテーマをまず会員が学習し、その成果を地域の発展に生かすための実践的な活動を行っています。※平成21年度の男女共同参画社会支援セミナーの報告を、2ページに掲載しています。



フォーラムの様子

生物多様性(COP10)と男女共同参画 ～事例集「いい人 見つけた!」を発行～

今年10月に名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されますが、条約の前文では生物多様性を守る女性の役割とすべての段階における女性の完全参加を謳っていて、ぜひ取り上げたいテーマだったことから、平成21年度には、愛知県の「チャレンジ女性応援モデル事業」に応募し、「命のつながり男(ひと)と女(ひと)の役割=生物多様性(COP10)と男女共同参画」をメインテーマに「COP10と女性の役割」を始め4つのセミナーとフォーラムを開催しました。

そして、「環境に関する女性のチャレンジ事例集『いい人 見つけた!』」を発行し、ネイチャーゲームトレーナー、環境カウンセラー、森林インストラクター、間伐ボランティアなどさまざまな立場で自然と環境を守る活動を続けている身近な49人の女性たちを紹介しました。

この事業を通して、生物の多様性が私たちの暮らしを支えており、消費行動や暮らし方が生物の命に影響を与えることの重大さを多くの方に理解してもらうことができました。参加した女性の中から具体的な活動を始めようという機運も生まれました。みちの会では、チャレンジする女性たちをサポートし、地域で活躍できる女性の育成を行いたいと思っています。

みちの会の活動の内容はホームページでも紹介しています。 [ホームページ http://michinokai.net/](http://michinokai.net/)



相談コーナー



★相談コーナー専用ダイヤル
電話 052-962-2614

受付時間 火～金曜日 9:00～12:00、12:45～16:30
土・日曜日 9:00～12:00、12:45～16:00

★DV専門電話相談専用ダイヤル
電話 052-962-2568

受付時間 原則として第1週のみ水曜日、
その他の週は土曜日 14:00～15:30

ウィルあいち相談コーナーでは、女性が危機・岐路に立ったときこそ成長のときと考え、相談者の持つ力を引き出し、解決のための一歩を踏みだすお手伝いをしています。今回のシリーズでは、「目には見えにくい心の状態が、体の症状として現われている事例」をもとに、密接に繋がった心と体の関係を考えて行きたいと思えます。 ※事例はプライバシー保護のため、実際の相談とは設定や状況を変えています。

A子さんの事例

A子さんは39歳。大学を卒業後、今の会社に入社しました。この会社は、女性の能力を生かしていくことを掲げており、A子さんは自分の力が十分に発揮できる職場だと思い、同僚が転職、結婚で退社していく中、17年間、夢中で仕事を続けてきました。しかし、今年の春頃から、出勤時にめまいがしたり、作事中に頭痛がたびたび起こるようになったのです。病院で検査を受けてみましたが、結果は何の問題もありませんでした。「風邪気味だから」「ちょっと疲れているだけ」と自分に言い聞かせながら、何とか仕事をこなしてきましたが、ある日、何か分からない大きな不安に襲われ、その日から会社も休みがちになってしまいました。

A子さんは、そんなどうしようもない不安な気持ちを聞いて欲しいと電話相談され、面接相談で問題を整理していくことになりました。

体の症状は、心の声

初回の面接相談では、頑張って仕事をしてきたことを話されていたA子さんでしたが、何回か面接を重ねるうちに、女性の力を生かすと言っていた会社も、やはり男性中心であったことや、結婚もせずに仕事をしてきたことが本当によかったのか、これからどう生きてよいか分からなくなっているなどの悩みが語られるようになっていきました。また親の老いを目にし、親の介護、自分自身の老後の不安など、今まで考えないようにしてきた自分の気持ちにも気付いていけました。相談員は、社会の中で女性が感じる生きにくさを理解しながら、A子さんのお話を聞いていきました。そんな作業を繰り返していくうちに、A子さんのめまい、頭痛などは次第に軽減していったのです。

A子さんに現われた体の症状は、心が訴えていた悲鳴といえるのかもしれません。心と体は密接に繋がっています。人は意識上でいくら自分に言い聞かせても体がいうことをきかなくなることがあります。自分の心が発する言葉に耳を傾けてみることは大切なことなのです。ウィルあいちの相談では、相談者とともに心の声に耳を傾けていきます。

情報ライブラリーから

雑誌のバックナンバーを簡単に探せるようになりました!

- 以前読んだ女性学研究誌の論文をもう一度読みたい。
- 女性団体は、女性問題をどう扱ってきたのか知りたい。…などのご要望にお応えします。

ウィルあいち情報ライブラリーでは、県内外の女性問題を扱った雑誌を多数収集し、提供しています。このたび、女性問題について書かれた過去の記事を探しやすいように、雑誌検索機能を新たに作りました。ウィルあいちのホームページからも探せます。

情報ライブラリー>所蔵資料・雑誌記事検索

ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp/jyoholibrary/opac.html>

館外への貸出はできませんが、情報ライブラリーでゆっくりと女性問題を考えてみてはいかがでしょうか。ご利用をお待ちしています。



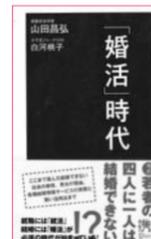
○こんな雑誌があります。

アジア女性研究 イメージ&ジェンダー 女たちの21世紀 女も男も 国際ジェンダー学会誌 国際女性 ジェンダー研究 女性&運動 女性学 女性学年報 女性空間 女性史学 女性展望 女性と仕事ジャーナル 女性と労働21 女性ライフサイクル研究 女性労働研究 スポーツとジェンダー研究 世界の労働 日本語とジェンダー 日本ジェンダー研究 日本女性科学者の会学術誌 婦人公論 女性学を扱う大学の研究紀要 など

図書の紹介

～婚活～

ブームになっている婚活。婚活や結婚に関するさまざまな本が続々と出版されています。情報ライブラリーで所蔵している図書の中から、婚活に関するものをご紹介します。



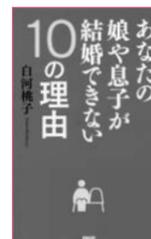
『「婚活」時代』 山田昌弘、白河桃子 著(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

いまやシューカツ(就職活動)と同じくらい重視されているコンカツ(婚活)。その背景にある晩婚・非婚の現状を解説し、こうした男女の恋愛・結婚観について深く分析している。単に危機感をあおるだけでなく婚活を成功させるためのノウハウも掲載しているので、自分の状況をきちんと把握した上で、自分に合った婚活を実践することができる。婚活本のささがけとなったのが本書。



『オトコの婚活』 泉直樹著(実業之日本社)

男性の未婚率は女性よりも高い。オトコのほうがより深刻な婚活問題、真剣に考えなければならないのは男なのだ。30代独身オトコのルポライターが、独身オトコの本音や男女の意識の違いなどを、さまざまなデータやインタビューを通して読み解き、未婚者の視点で結婚することの意味を考える。結婚したいのに独身でいる男性に必要な意識改革も6つ提言している。



『あなたの娘や息子が結婚できない10の理由』 白河桃子著(PHP研究所)

「うちの子、どうして結婚できないの?」に答えるQ&A。子どもの結婚を心配する親に対して、現在の結婚事情と親世代の考え方が違いすぎることを理解してもらうとともに、子どもの結婚のために親ができることは何かをアドバイス。本書は、「親にも知ってほしい婚活の現実」をわかりやすく解説している。

問い合わせ先 ウィルあいち情報ライブラリー 電話052-962-2510